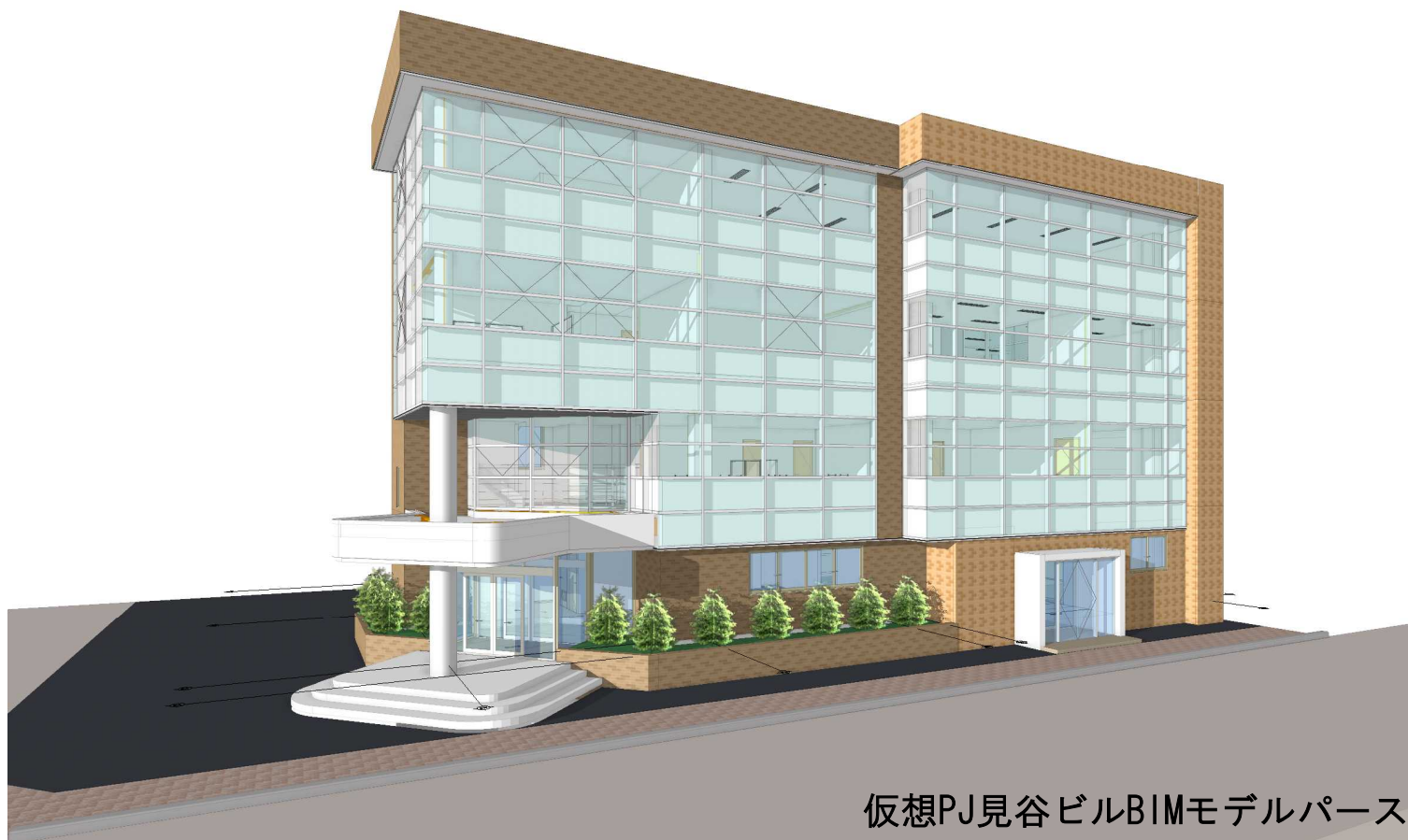
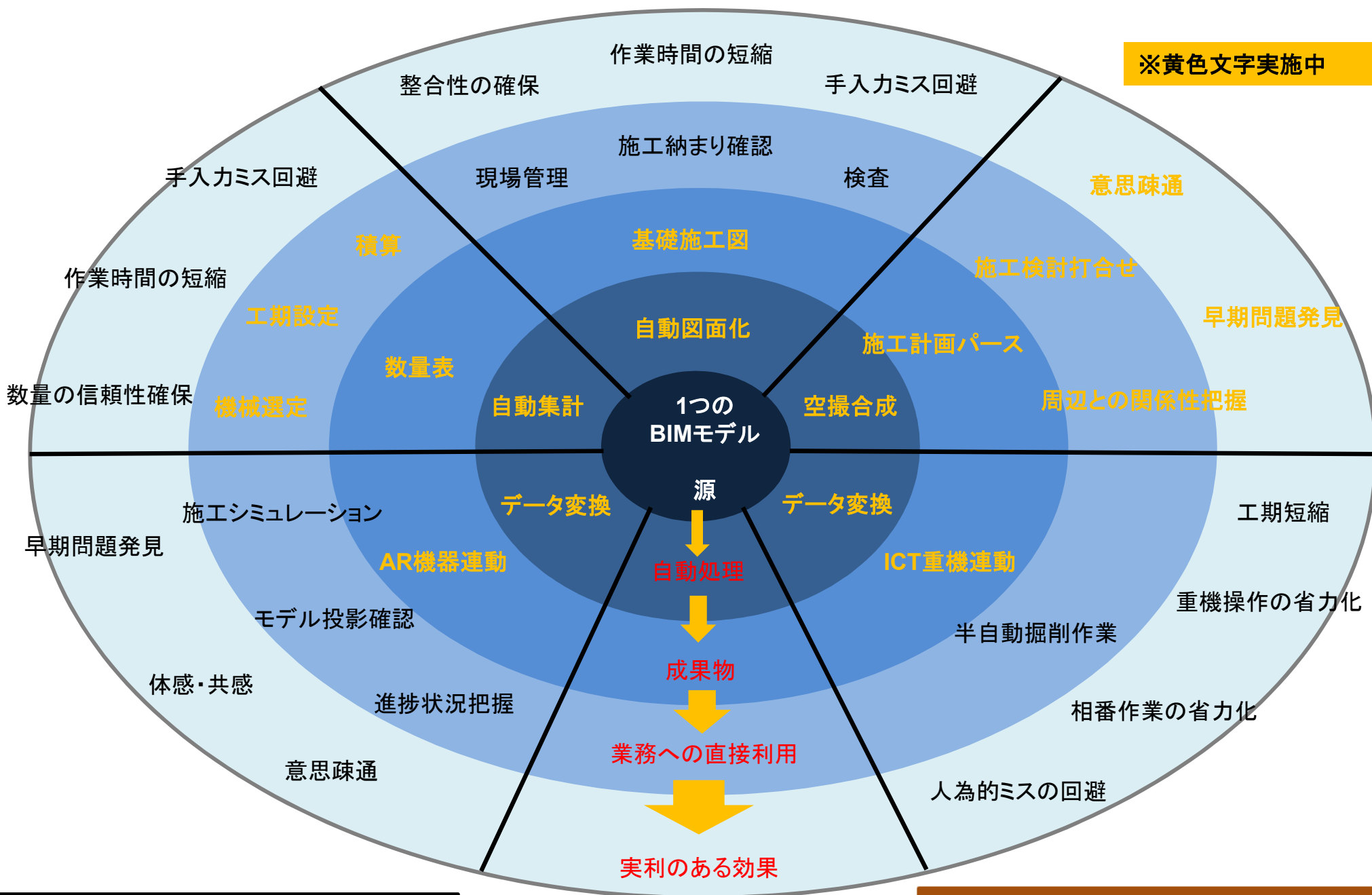


【 中 間 報 告 】



仮想PJ見谷ビルBIMモデルパース

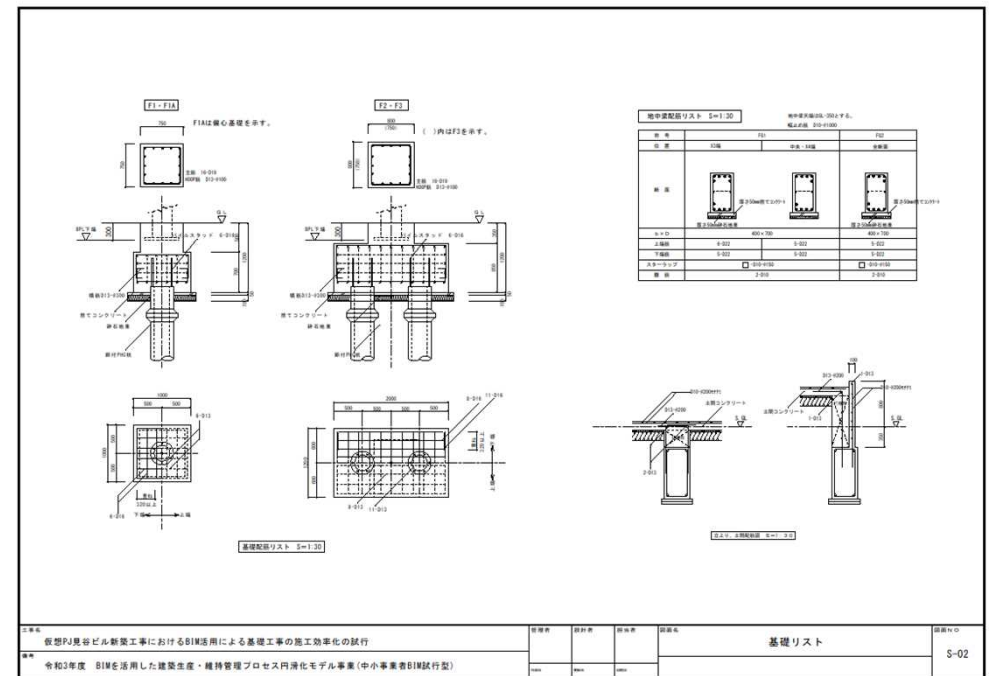
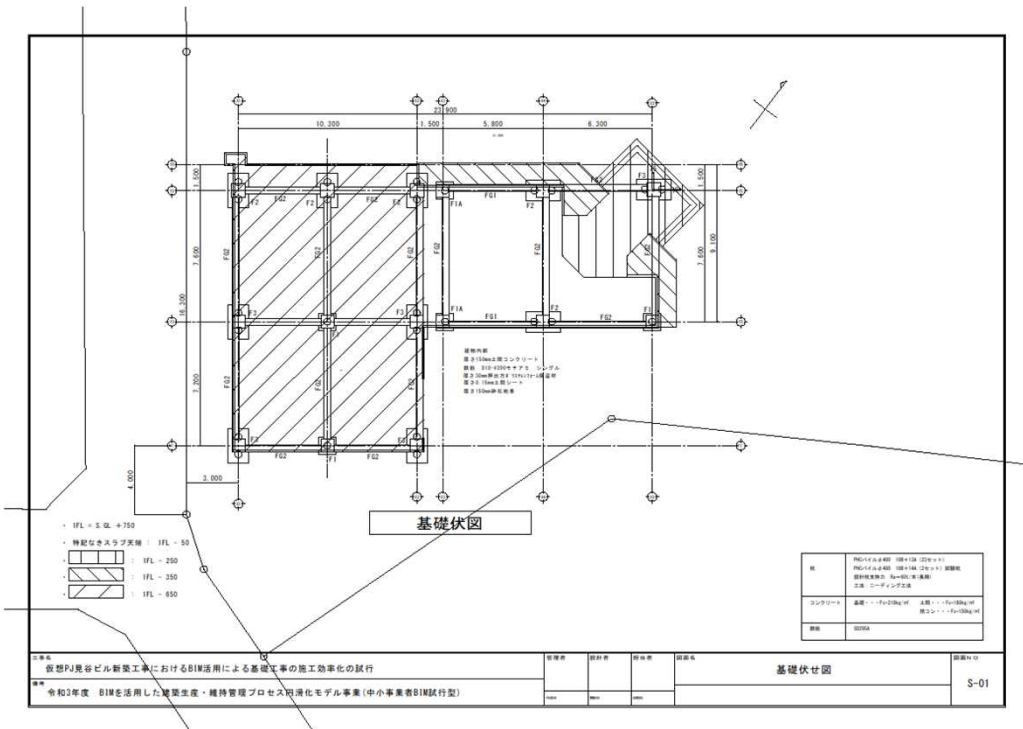
※黄色文字実施中



BIM活用効果検証ダイアグラム

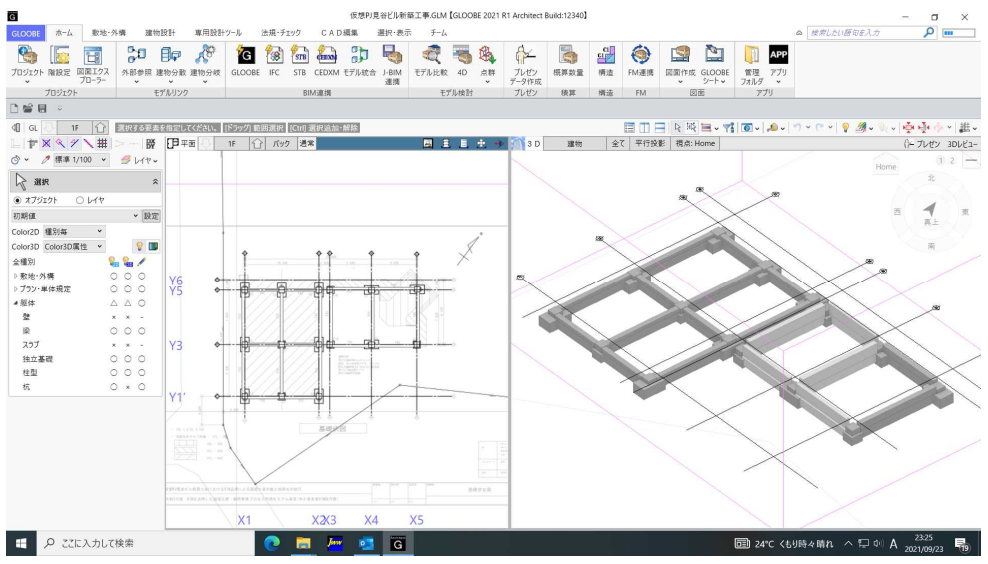
令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（中小事業者BIM試行型）

仮想PJの設計図（基礎構造図）

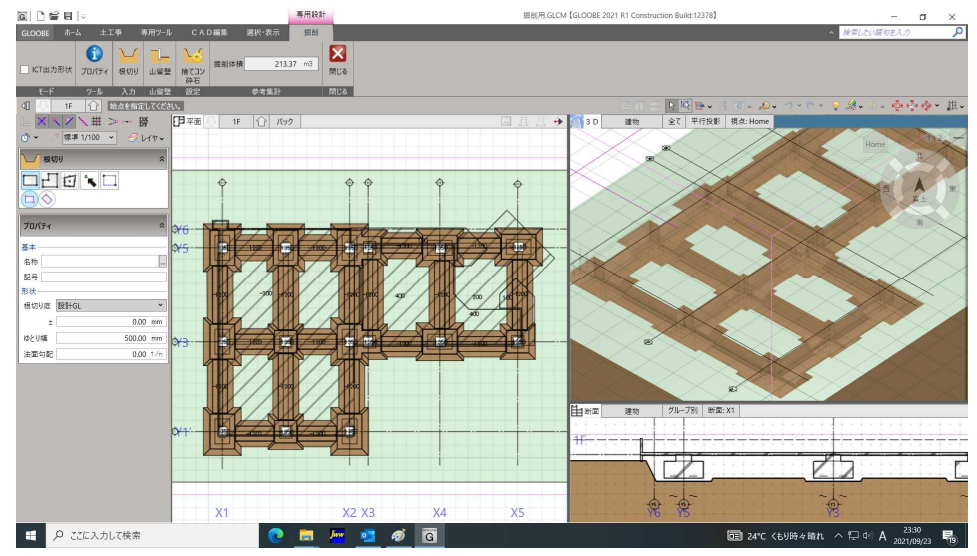


※現存する見谷組本社の設計図を基に構造設計図を作成

基礎BIMモデル作成及び形式変換

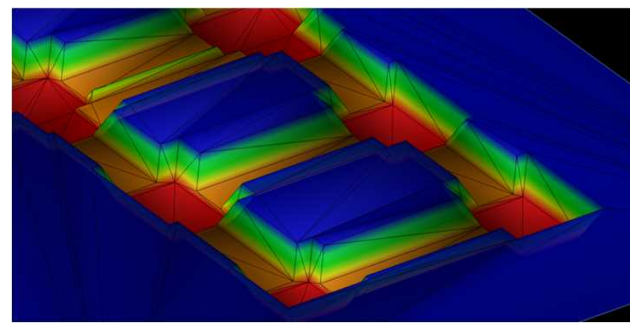
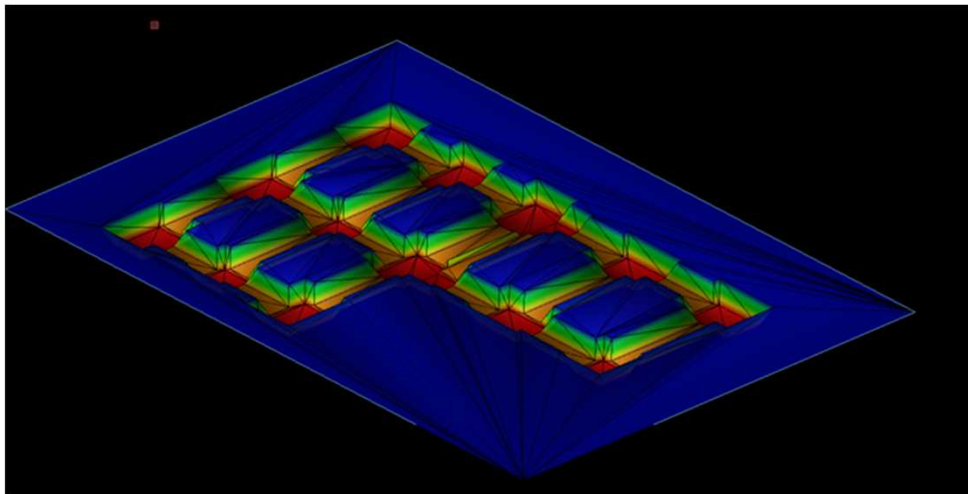


基礎BIMモデル GLM形式



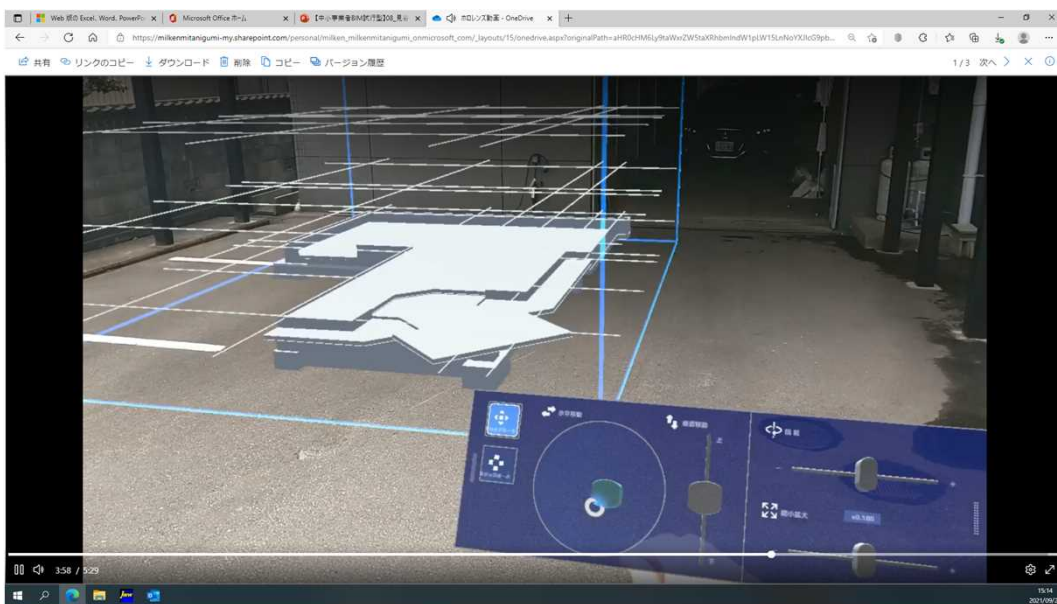
掘削BIMモデル GLCM形式

ICT重機入力データ LandXML形式

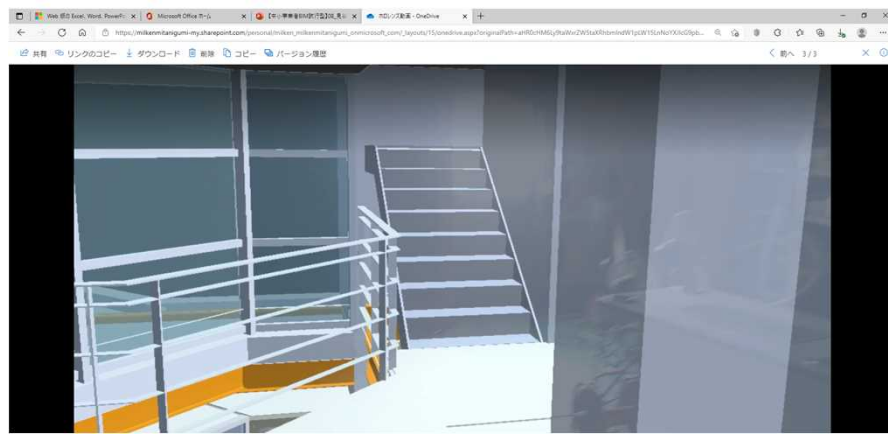


令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理
プロセス円滑化モデル事業（中小事業者BIM試行型）

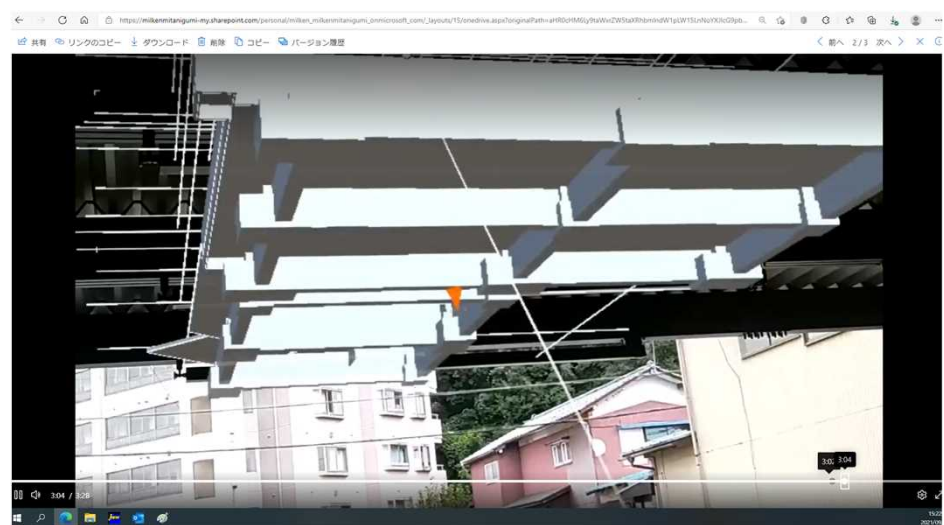
ホロレンズ活用によるAR投影確認



本社駐車場にて投影実験



BIMモデルの中に入る



基礎の裏側を見る

令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理
プロセス円滑化モデル事業（中小事業者BIM試行型）

ドローン空撮+BIMモデル合成による施工計画パースを用いた
事前の施工検討



上空写真に平面図合成



上空写真に建物BIMパース合成



上空写真に基礎BIMパース合成



上空写真に基礎BIMパース合成

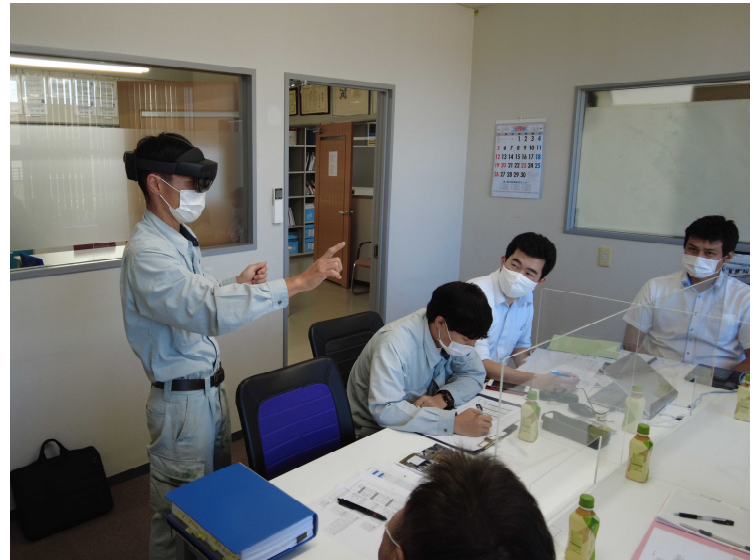
空撮写真との合成により周辺との関係性を把握する

PJ関係者の定例会議開催状況



コンソーシアム会議 (第1回)		日
会議名	共同作業・BIM活用による基礎工事の効率化に関するコンソーシアム会議	令和3年7月19日 13:30
開催場所	見谷組本社 201号会議室	作成者 横山 利夫
出席者	見谷組 横山 利夫、轟建設 横山 利夫、コマツ 横山 利夫、福井コンピュータ 横山 利夫	議決事項
議決事項	見谷組 横山 利夫、轟建設 横山 利夫、コマツ 横山 利夫、福井コンピュータ 横山 利夫	
出席者	見谷組 横山 利夫、轟建設 横山 利夫、コマツ 横山 利夫、福井コンピュータ 横山 利夫	
出席者	見谷組 横山 利夫、轟建設 横山 利夫、コマツ 横山 利夫、福井コンピュータ 横山 利夫	

定例会議議事録作成



ICT重機による基礎掘削実験のスケジュール

ICT重機による掘削10/12開始予定

		令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（中小事業者BIM試行型）																							作成日：R3.9.24											
		9月											10月											作成者：(株)見谷組 橋本 哲												
区分	月/日	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	天候																																			
全体																																				
轟建設担当																																				
見谷組担当																																				
その他																																				
大																																				
気																																				
晴																																				
曇																																				
雨																																				
雪																																				
※																																				
記事																																				
(検査項目等記載)																																				

クラウドサービスの活用

OneDriveのクラウドサービスを利用したデータの一元管理による真正性の確保

